

## 地域に変化をもたらす触媒業 「カタリスト」が誕生させた 体験したくなる欲求が湧き上がる 新しい不動産再生事業の魅力！

(株)つばさ人本経営コンサルティング 代表 臥龍こと角田識之

理想の業態開発シート 氏名:	
事例企業	自社が第二創業する業態開発
社名	株式会社Catalyst(カタリスト)
業界	不動産再生事業
業種	施設の再生 & 地方創生事業
業態名	地域に変化をもたらす触媒業
ミッション	世界中の美しい場所を見つけ、それを世界中の人々に届け、たくさんの方々に感動をしていただけます。
基本価値	地域の施設の再生
付加価値	地域の魅力を売る
インパクト	2021年メーカー業も併設
突き抜けたこだわり	「歴史や文化の美しさ」と「ありのままの自然が持つ美しさ」という両極にある2つの美しいものを高次元でプロデュース

### ● 魔法のシート

日本を今覆うシュリンク（縮む閉塞感）という暗雲を突き抜ける企業には、必ず「理想の業態」があります。まだ出会っていないお客様や同志が、貴社に集まるのは「差別化」があるからです。業界という森の中に業種という林があり、その林の中にす

てきます。

### ● 古き美しきものの再生

カタリストと出会ったきっかけは、行きつけのレストランのスタッフの「近くオープンする西伊豆の宿のサービス指導に行っていきます」の一言でした。日本一のサービスと評される「カシータ」の指導を受けてオープンしようという意気込みに興味を惹かれ、三月のオープン初日の宿泊申し込みをしました。宿の名は地域名産の白ビワから取った「ロクワット(LOQUAT)」。



くと立つ一本の木が業態です。「一社一業態」「日本に唯一の業態」が開発できれば、奇跡が生まれます。紹介企業の事例を参考に、貴社が新業態を開発されれば、顧客や従業員は向こうからやっ

### 1. 古きものの良さを生かした再生

300年前の700坪の古民家を再生した宿。本宅をイタリアンレストランに、三つの蔵を二つの宿と昼エステ&夜バーにしています。宿泊蔵は屋根なし露天風呂付き。つまり一日2組の宿ですが、古き美しきものと近代的な利便性が高次元にマッチした癒しの宿でした。

### 2. 宿ではなく地域を売る

実は、ロクワットの斜め向かいには2年前に再生した35室の中規模旅館「ゆとりろ西伊豆」がありますが、副支配人の三浦聰さんの「私たちは宿を売るのではなく地域の魅力を売りたいと考えています」を聞いて、では来月は連泊にしますので「地

域を売る」を体験させてねとリクエストしておきました。

### ● 「地域の魅力」を売る宿から受けた新鮮体験

#### 1. ウェルカムドリンクは渓流のカフェで！

通常、到着のウェルカムドリンクはホテルのフロントですが、ホテルの近くの素敵な渓流カフェ「CHAKI CHAKI」を紹介いただき、西伊豆の自然豊かなフロントを感じました。

#### 2. 旅館泊なのに夕食は地元の割烹

連泊も一泊目は「ゆとりろ」、二泊目は「ロクワット」と変化をつけてくれていましたが、一泊目の夕食はなんと地元の魚介類が美味しい割烹のお店です。当然、今回の宿泊料金の中での手配ですが、これは人生初体験でした。しかも夕食の前に、富士山が見える絶景の夕日スポットにもご案内いただきました。

#### 3. 塩採り体験と田んぼを見ながらの手作りランチ

二日の昼食は、またびっくりの非日常体験でした。天然塩ブランドでは有名な「おくだ荘の井田塩」作りの現場で、人生初の天然塩採り体験。更におくだ荘の女将の地産地消の手作りランチを田園前に置いたテーブルでいただいたのですが、この大自然真っただ中でいただいた塩にぎりの美味しいこと！都内の三ツ星レストランに負けない想い出になりました。

### ● 新業態が生み出す未来にワクワク

この新鮮体験で興味が湧いた

「カタリスト」を訪問し、創業者の高野由之さんのお話を伺いました。設立が2015年、年商10億、従業員数50名。6年で到達したレベルが早いか、大きいかという評価は別にして、新業態が生み出す未来にワクワクしました。

#### 1. 業態やミッションの誕生背景

高野さんは現在37歳。京都大学卒業後、有名コンサルティングファームへの就職を目指しますが挫折。そこから、日本の大手自動車メーカー、戦略系コンサルティングファームを経て、内閣府の地方創生ファンド(REVIC)に参画します。そこで日本各地に眠る資源に再び光を当てる面白さに目覚め、32歳で創業。日本橋の織維問屋ビルを再生した「obi(帯)」が初仕事でした。「カタリスト(Catalyst)」とは、元々化学反応を促す「触媒」という意味でしたが、高野さんは「地域に変化をもたらす触媒業」という業態にその意味を置き換えます。

#### 2. 突き抜けたこだわりの背景と行く先

「ありのままの自然が持つ美しさ」を守ることと、「脱



炭素」という国家的命題への一つの答えとして、今秋にも宿のハード面を提供するメーカー業を開始されます。その内容はまだ明かせませんが、もの造りの大手企業をも巻き込んだプロジェクトは、高野さんの自動車メーカーでの体験が生きているようを感じました。いち生活者としても、「体験したくなる欲求が湧き上がる新業態展開」が続く予感にワクワクしました。

(株) つばさ人本経営コンサルティング代表 臥龍こと角田識之 無料メールマガジン「社長のビタミン・一日一語」好評発信中！



#### Profile

**臥龍** (がりゅう: wolong ウォロン) こと  
**角田識之** (すみだのりゆき Sumida Noriyuki)

APRA(エーブラ)議長 & 一般社団法人「志授業」推進協議会・理事長

「坂の上の雲」の故郷、愛媛県・松山市生まれ。23歳のときに「竜馬がゆく」を読み、「世界の海援隊」を創ることを志す。人の幸福を主軸とする「人本主義思想」の素晴らしさを経営の場で実証推進する和僑(日本)と華僑(台湾・上海)合同の勉強会「APRA(エーブラ)」を設立し、日本全国そしてアジア太平洋各国を東奔西走中。最近では、一般社団法人「志授業」推進協議会の理事長として、小中学生の大志確立を支援する「志授業」の普及、民族肯定観を上げるための「歴史・偉人」の講話にも注力中。詳細は「志授業」でご検索ください。

